

研究発表会開催通知

(昭和 62 年 12 月 15 日～昭和 63 年 1 月 31 日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
設 計 自 動 化	12月17日(木) 12月18日(金)	9:00～16:45 9:00～15:30	NTT (広島)	前号参照
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	12月18日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
知 識 工 学 と 人 工 知 能	1月13日(水) 1月14日(木)	10:00～17:00 10:00～17:00	阪 大・産 研	下記参照
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	1月18日(月)	10:00～17:00	京 大 会 館	同 上
文書処理と ヒューマンインタフェース	1月18日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
マイクロコンピュータ} 計算機アーキテクチャ}	合同	1月21日(木)	9:30～17:15	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	1月21日(木) 1月22日(金)	13:00～17:00 9:00～17:00	阪 大	同 上
記 号 処 理	1月22日(金)	13:30～17:00	電 総 研	同 上

◆ 第 56 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 14 件)

(主査: 堂下修司, 幹事: 西田豊明, 米澤明憲)

日 時 昭和 63 年 1 月 13 日 (水) 午前 10 時～午後 5 時
1 月 14 日 (木) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 大阪大学 産業科学研究所 講堂
〔茨木市美穂ヶ丘 8-1, 阪急千里線: 北千里下車, 徒歩 15 分.
Tel. 06 (877) 5111 ex. 3540〕

議 題 1 月 13 日 (水) 10:00～12:15 (3 件)

(1) 連想パーザ ASP における曖昧さの解消のための知識と推論

大隅 信, 尾崎 弘 (関西大・工)

堀 雅洋, 溝口理一郎, 角所 収 (阪大・産研)

〔概要〕 音声理解に固有の曖昧さを解消するために ASP で用いているさまざまな知識とそれに基づく推論方式について述べる。

(2) 連続音声認識エキスパートシステム SPREX II における認識知識の自動生成 桜井 徹 (関西大), 土野克彦, 千種俊輔, 溝口理一郎 (阪大・産研)

野村康雄 (関西大), 角所 収 (阪大・産研)

〔概要〕 属性発見機能を持つ適応的ルールインダクションシステム ARIS とそれをを用いた認識知識自動生成について述べる。

(3) PDP モデルによる診断エキスパートシステム

齊藤和巳, 中野良平 (NTT 通研)

〔概要〕 PDP モデルの知識処理への適用性を, 医療診断エキスパートシステムの試作を通して明らかにする。

13 : 30~17 : 00 (4 件)

(4) The Use of Familiarity in Semantic Interpretation

David Cohn, 木内伊都子, 藤原浩道 (日立)

〔概要〕 知識ベースにすでに定義されている概念と関係を用いて, 複合名詞句の意味解釈を行う方法を提案する.

(5) 解釈型知識獲得システム 滝 寛和 (ICOT)

〔概要〕 不完全な知識から知識ベースを構築する方法について報告する.

(6) エージェントの目標間の関係に着目した分散型協調問題解決の試み

平松健司, 小野典彦, 翁長健治 (広大・工)

〔概要〕 エージェントの各々が協調すべき状況を認識すると共に適切な協調的活動を計画するための枠組みを提案する.

(7) プロダクションシステムのトポロジカルオプティマイザ

石田 亨, 横尾 真 (NTT 通研)

〔概要〕 プロダクションシステムの条件部における結合演算 (Join) 順序をプログラム特性を用いて変更する.

1月14日(木) 10 : 00~12 : 15 (3 件)

(8) 物理モデルをベースにした知識訓練システム 乾 昌弘 (大阪ガス)

〔概要〕 知的訓練システムツールの開発と, その応用例として電力制御盤の切り換え訓練システムを紹介する.

(9) 知識利用型画像検索システムの構成

大川鋼直, 馬場口登, 手塚慶一 (阪大・工)

〔概要〕 画像を解釈する知識の利用により, 意味レベルからの検索が可能な画像検索システムの基本構成について述べる.

(10) オブジェクト指向知識データベース

中野良平, 小濱千恵 (NTT 通研)

〔概要〕 フレームモデルと関係モデルの結合をオブジェクト指向パラダイムの下に実現する知識データベースモデル〈フレーム論理 2〉の基本概念と実現の見通し等について述べる.

13 : 30~17 : 00 (4 件)

(11) 学習者の問題解決能力を支援する知識ベースシステム

田中克己, 鈴木昭二, 伊藤紘二 (東大・工)

〔概要〕 学習者の問題解決を問題記述と解決に必要な知識の検索・適用の支援を行うことにより支援するシステムを説明する.

(12) 幾何における補助線問題の解法について

諏訪正樹 (東大・工), 元田 浩 (日立 基礎研)

〔概要〕 補助線を引いて証明を行う問題解決機構の表現と, それに付加すべき学習機構の展望について述べる.

(13) 知的インタビューシステム I2S における学習機能について

和田充弘, 川口敦雄, 溝口理一郎, 山口高平, 角所 収 (阪大・産研)

〔概要〕 獲得したドメインの知識を用いてより効率的なインタビューを可能にする I2S の学習機能について述べる.

(14) 問題解決における戦略学習システム：PiL

—直接解決可能性に基づく一般化—

山田誠二，安部憲広，辻 三郎（阪大・工）

〔概要〕 直接解決可能性に基づく一般化（DBG）を提案し，それによる各種方式の学習効率の向上を実現する。

◆ 第 63 回 データベース・システム研究会

（発表件数：8 件）

（主査：上林弥彦，幹事：石井義興，大里博志，鈴木健司）

日 時 昭和 63 年 1 月 18 日（月）午前 10 時～午後 5 時

会 場 京大会館 1 階 102 号室

〔京都市左京区吉田河原町 15-9，JR：京都下車（北口），市バス：A 2 乗場 206 番（東山廻り）または，地下鉄：今出川下車，京阪：四条より（南座向い）ともに 201 番（東行），東一条下車，南西方向へ徒歩 5 分。Tel. 075 (751) 8311, 2〕

議 題 10：00～12：00（3 件）

（1）先読みスケジューラにおける宣言の正確さについて

茨木俊秀，KAMEDA Tiko（京大・工）

〔概要〕 不完全な宣言のもとでの先読みスケジューラの性能が宣言の正確さに応じて向上することを理論的に明らかにする。

（2）設計データベースのバージョン管理とその実現

宇田川佳久，溝口徹夫（三菱電機）

〔概要〕 設計データベースにおけるバージョン管理をモデル化し，データ・ディレクトリに基づく実現結果を示す。

（3）A Database Operating System Simulator

仲 興 国，陳 道 灼，上林弥彦（九大・工）

〔概要〕 データベースとそれに適したオペレーティングシステムを評価するためのシミュレータと利用について述べる。

13：00～17：00（5 件）

（4）並列型データベースマシンにおける結合処理

上林弥彦，中村千秋（九大・工），石田真美（富士ゼロックス）

〔概要〕 並列型データベースマシン向きの，結合関係をまとめて整列する方式と差分ファイルを用いる方式を提案する。

（5）オブジェクト指向データモデル MORE

津田和幸，平川正人，田中 稔，市川忠男（広大・工）

〔概要〕 仮想スキーマの動的変更をメッセージ通信によって実現するオブジェクト指向データモデルについて述べる。

（6）MORE モデルに基づくオブジェクト指向データベースシステム

津田和幸，柿本篤己，平川正人，田中 稔，市川忠男（広大・工）

〔概要〕 筆者らの提案するオブジェクト指向データモデル MORE に基づくシステムのインプリメントについて述べる。

（7）マルチメディアデータモデル OMEGA におけるオブジェクト概念と操作

増永良文（情報大）

〔概要〕 OMEGA におけるオブジェクトの定義，同一性，管理，および操作について論ずる。

(8) MML を中心としたシステムにおけるデータベースの要件

石井義興，古山一夫（ソフトウェア・エージャー）

〔概要〕 最近話題の MML を利用し，利用者主体でデータベースを利用する際に求められる要件について述べる。

◆ 第 16 回 文書処理とヒューマンインタフェース研究会

（発表件数：5 件）

（主査：木村 泉，幹事：角田博保，黒須正明，首藤正道）

日 時 昭和 63 年 1 月 18 日（月）午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，JR：浜松町下車，バス：渋谷－東京タワー線東京タワー，渋谷－東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車。Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) 全かな相対母音方式日本語入力法 小野勝康

〔概要〕 20 キーパッド片手ローマ字ブラインドタッチ入力における母音入力を相対化した日本語入力方法の紹介。

(2) キーボードエミュレーションを行うとき望まれる BIOS の機能について 森川 治（製品科学研）

〔概要〕 キー配置の異なる各種のキーボードをエミュレーションする場合，BIOS に望まれる機能について述べる。

(3) キー配列の評価の評価—mykey 配列の特色に関連して—

竜岡 博（リップス）

〔概要〕 mykey の配列との関連で，日本文入力用のキー配列の評価方式を比較し，新評価要素を提案する。

(4) 2 ストローク入力用仮名漢字変換システム

喜多辰臣，塩見彰睦，河合和久，大岩 元（豊橋技科大・情報工学）

〔概要〕 仮名と漢字の混在した入力を漢字に変換するシステムの設計と実現について述べる。

(5) 座標入力のためのポイント手法の提案とその評価

西中芳幸，辻野嘉宏，都倉信樹（阪大・工）

〔概要〕 ポイント装置を用いた座標入力の精度向上のための手法を提案し，従来のものと比較する実験を行い評価した。

* 今回の研究会は日本ソフトウェア科学会（ヒューマン・インタフェース研究会）との共催で行われます。

◆ 第 48 回 マイクロコンピュータ研究会 } 合同 ◆ 第 61 回 計算機アーキテクチャ研究会 }

（発表件数：12 件）

MC（主査：若鳥陸夫，幹事：岡田義邦，森本陽二郎，山田 剛）

CA（主査：田中英彦，幹事：喜連川優，長谷川隆三）

日 時 昭和 63 年 1 月 21 日（木）午前 9 時半～午後 5 時 15 分

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題 9:30~12:10 (5件)

(1) Prolog OR 並列処理手法 一階層型挟み打ち探索法—

甲斐宗徳, 小林和男, 笠原博徳 (早大・理工)

〔概要〕 Prolog OR 並列処理手法として「階層型挟み打ち探索法」を提案するとともに, その性能評価について述べる.

(2) 並列処理システム—晴—の実行方式

丸島敏一, 山名早人, 萩原 孝, 草野義博, 村岡洋一 (早大・理工)

〔概要〕 逐次型言語を入力とする科学技術計算用並列処理システムのアーキテクチャ及び処理方式について述べる.

(3) 並列画像生成方式とアーキテクチャ

大宅伊久雄, 吉田隆義, 守谷伸行 (沖電気)

〔概要〕 プログラムの実行は MIMD 方式, 画素演算は SIMD 方式を用いた多重並列処理マシンのアーキテクチャ及び画像生成基本ソフトウェアの分散処理方式について論じる.

(4) SIMP (単一命令流/多重命令パイプライン)方式の構想

村上和彰, 福田 晃, 末吉敏則, 富田眞治 (九大・総理工)

〔概要〕 次世代 VLSI プロセッサのアーキテクチャとして, 命令パイプラインの多重化を検討しているので報告する.

(5) 多相脈流電源によるジョセフソン・プロセッサの設計

岡田義邦, 濱崎陽一, 仲川 博 (電総研)

〔概要〕 多相脈流電源・直接結合型 4JL 素子に基づくジョセフソン・プロセッサの設計手法について述べる.

13:30~15:30 (4件)

(6) モトローラ第2世代 μP アーキテクチャ 須山徹郎 (日本モトローラ)

〔概要〕 MC 68030 マイクロプロセッサの機能, 及び特長について報告する.

(7) NS 32532 アーキテクチャ

栗原敏雄 (ナショナルセミコンダクタージャパン)

〔概要〕 平均 10 MIPS の高性能を保有する 32 ビットマイクロプロセッサ, NS 32532 のアーキテクチャについて述べる.

(8) V 60/V 70 アーキテクチャ

矢野陽一 (日電)

〔概要〕 32 ビットマイクロプロセッサ V 60/V 70 のアーキテクチャについて簡単に概要を述べる.

(9) TRON 仕様に基づく 32 ビットマイクロプロセッサ TX1 の CPU アーキテクチャ

岸上秀哉, 増淵美生, 内海 透, 宮森 高, 宮田 操 (東芝)

〔概要〕 TRON 仕様に基づくマイクロプロセッサ TX1 の内部構造とシミュレーションによる性能評価について紹介する.

15:45~17:15 (3件)

(10) 32 ビット AI チップ ELIS のアーキテクチャ

渡辺和文, 石川 篤, 山田康宏, 日比野靖 (NTT 通研)

〔概要〕 32 ビットの LISP 専用プロセッサ LSI の開発について報告する。

(11) Prolog 指向 RISC プロセッサ “Pegasus”

—プロトタイプ開発とその評価— 瀬尾和男, 横田隆史 (三菱電機)

〔概要〕 Pegasus プロセッサの 2 μ m CMOS によるプロトタイピング及びその評価について報告する。

(12) ASIC 手法を活用したシステム VLSI の開発

白石 肇, 加沼安喜良, 西尾誠一 (東芝)

〔概要〕 巨大かつ複雑な要求仕様をシステム VLSI として実現する開発手順を具体例で示し, 改善方法を提案する。

* 今回の研究会では, 一般テーマのほかに, マイクロプロセッサを特集テーマとして論文発表が行われます。奮ってご参加ください。
IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第 52 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 16 件)

(主査: 白井良明, 幹事: 松山隆司, 吉田真澄)

日 時 昭和 63 年 1 月 21 日 (木) 午後 1 時~5 時

1 月 22 日 (金) 午前 9 時~午後 5 時

会 場 ATR 視聴覚機構研究所 会議室

〔大阪市東区城見 2-1-61 (ツイン21ビル MID タワー), 大阪環状線: 京橋 (南出口) または大阪城公園下車, 徒歩 7 分. Tel. 06 (949) 1835〕

議 題 1 月 21 日 (木) 13:00~16:10 (5 件)

画像表現

(1) 非線形擬似ブール代数による三面図からの物体の自動合成

佐々木康仁, 伊藤 潔, 鈴木誠道 (上智大)

(2) 複数の鏡像を含む単眼画像からの面対称復元手法による隠れのない 3D 物体復元

田村進一 (阪大)

光本浩士, 梶見直樹, 岡崎耕三, 副井 裕 (鳥取大)

(3) 法線像仮説検定法による三面頂点の配置推定

尺長 健, 金子 博 (NTT 通研)

画像処理 (1)

(4) 内容照合型 LUT を用いたラベリング方式

榊井 猛, 那須靖弘 (甲子園大), 志水英二 (大阪市大)

(5) 画像処理エキスパートシステム用ルールエディタ

松尾昭彦, 斉藤由香里, 裴 東 善, 秋元晴雄 (富士通研 (

16:10~17:00

見学: ATR 視聴覚機構研究所 視覚研究室および ATR 通信システム研究所
知能処理研究室

1 月 22 日 (金) 9:00~12:05 (5 件)

ロボットビジョン

(6) An evaluation of 3-D object pointing with a stereo-scopic display and mouse

竹村治雄, 伴野 明, 小林幸雄 (ATR)

(7) 境界面反射を持つ金属物体の面の認識

漢野救泰, 中野幸一 (石川工試), 渡辺弥寿夫 (金沢工大)

(8) セグメントの形状情報を利用したステレオマッチング

関 靖夫 (NTT 通研)

(9) シリンダブロック三次元認識システム 沼田宗敏 (ロゼフテクノロジー)

(10) リスプによる高速画像処理環境と処理システム

城 和貴, 梅田三千雄 (ATR)

13:10~17:00 (6件)

画像処理 (2)

(11) 回転プレ画像の修復と回転中心の検出について

小野直樹, 滝山竜三 (九州芸工大)

文書・文字

(12) 名刺画像認識における項目仮説生成 黄瀬浩一, 山田耕児 (阪大)

田中直樹 (近畿大), 馬場口登, 手塚慶一 (阪大)

(13) 文書画像理解による記事の自動抽出 辻本修一, 麻田治男 (東芝)

(14) 筆記者別のストローク形状を利用した個人向け手書き漢字認識

東岡 徹, 馬場口登, 手塚慶一 (阪大)

(15) 手書き漢字データベース ETL-9 を用いたカテゴリ内クラスタリングの実験

犬倉 充, 塩野 充 (岡山理科大)

(16) 文庫本点字訳のためのパソコンによる印刷文字認識

島田恭宏, 塩野 充 (岡山理科大)

※ 今回の研究会は電子情報通信学会 (パターン認識・理解研究会) との共催で開催されます。上記会告は 11 月 20 日現在の申込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 12 月号に掲載されますので、ご了承ください。

◆ 第 46 回 記号処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日 時 昭和 63 年 1 月 22 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場 電子技術総合研究所 D 棟 8 階 中会議室

[茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, JR (常磐線): 荒川沖下車, 関東鉄道バス(東口): 筑波大中央行, 並木 2 丁目下車, 徒歩 5 分, または東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス: 並木大橋下車. Tel. 0298 (54) 5423]

議 題 (1) 汎用ミニコン上の最適化 D-Prolog コンパイラ

松本憲幸, 小林 茂, 落合正雄, 本位田真一 (東芝)

[概要] 汎用ミニコン上で 284 KLIPS の実測性能を持つ C-Prolog コンパイラの最適化機能について発表する。

(2) Common Lisp における文字オブジェクトの扱いについて

井田昌之 (青学大)

[概要] Common Lisp のデータ型のうち文字オブジェクトに関する仕様の問題点について述べる。

特に, Kermit 7 の試作その他の経験でえられた具体的な点について論じる。

- (3) 並列 Lisp 上での GHC の実現 寺田 実, 岩崎英哉, 田中哲朗
小西弘一, 白川健治, 和田英一 (東大・工)

〔概要〕 並列 Lisp 処理系 mUtilisp 上での, マルチプロセスを用いた GHC の
実現についてその経過を報告する.

- (4) 順序ソート代数仕様と始代数存在判定手続き

清水敏彦 (日本ユニバック), 戸村 哲, 二木厚吉 (電総研)
中川 中 (SRA)

〔概要〕 順序ソートに基づく代数的仕様記述法とその仕様の意味を定める始代数
の存在判定手続きについて発表する.

◆ 文書処理とヒューマンインタフェース研究会

第17回 研究会を下記のとおり開催いたします. 研究発表(4件)の他, NTT ヒューマンインタ
フェース研究所内の見学 (各種入力方式関連) を予定しております. 開催時刻や議題の詳細について
は次号1月号を参照願います.

記

日 時 昭和63年3月3日 (火)

会 場 NTT ヒューマンインタフェース研究所 (横須賀)

◆ ソフトウェア工学研究会

62年度最後の研究会を下記のとおり開催いたします. プログラム等の詳細は本誌1月号 (次号) に
掲載します.

日 時 昭和63年2月4日 (木)~5日 (金)

会 場 信州大学工学部 情報工学科 (長野市若里 500)

62年度会費および論文誌・欧文誌購読費の 納入にご協力ください

去る11月下旬に, 本年度会費未納の方に, 郵便振替用紙によって, 標記のお願いをいたし
ました. ご承知のとおり, 会費は前納制 (すでに多くの方がたは納入済みです) ですし, 会費
納入の催促は手数料や郵便料がかさみ, 大きな負担となっております. 事情をお察しのうえ, 早
急にご納入くださいますよう, よろしくお願ひします.

なお, 63年度会費分から「預金口座振替納入制度」(本号巻末みどりのページ参照) を導入
いたしましたので, 希望する会員は早急にお申込みください.

「1988 情報学シンポジウム」開催について

日 時	1988 年 1 月 19 日(火)～20 日(水) 9:30～17:00
場 所	日本学術会議講堂（地下鉄千代田線乃木坂駅下車）
参 加 費	（資料代として） 会員 5,000 円 学生 1,500 円 一般 7,000 円
懇 親 会	会場 健保会館（地下鉄千代田線乃木坂駅下車） 会費 3,000 円
申込締切	昭和 62 年 12 月 28 日(月)（プログラムおよび申込書は前号にあります。）

論文賞候補の論文推薦のお願い

昭和 62 年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、論文の専門分野、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本会論文賞係宛お送りください。

論文選定条件

1. 選定範囲および推薦数
昭和 61 年 10 月から 62 年 9 月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol. 27, No. 10～Vol. 28, No. 9)および「Journal of Information Processing」(Vol. 9, No. 3～Vol. 10, No. 2)に発表された論文の中から 1 編。
2. 推薦資格
本会正会員に限ります。
3. 締 切 日
昭和 63 年 1 月 31 日(日)

表彰規程（抜粋）

第 3 章 論 文 賞

- 第 9 条 論文賞は、本会の機関誌に発表された論文のうちとくに優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第 10 条 表彰する論文は、原則として毎年 4 編とするが、編数は事情により変更することができる。
- 第 11 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前前年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第 12 条 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。
- 第 13 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。
- 第 14 条 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文 1 編につき 30,000 円とする。

「自然言語処理技術シンポジウム」開催について

日 時 昭和 63 年 1 月 21 日(木), 22 日(金) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館ホール (地下 2 階)
参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)
申込締切 昭和 62 年 12 月 31 日(木) (申込書は 10 月号本欄にあります.)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 (1 月 21 日)

基調講演「自然言語処理の展望」 (10:10~10:40) 吉田 将 (九工大)
最近の言語理論 (10:40~12:00) 石川 彰 (上智大)
——昼 食 (12:00~13:00)——
Connectionist Model 解説 (13:00~13:40) 交渉中
Connectionist Model による自然言語処理 (13:40~15:10) 交渉中
——休 憩 (15:10~15:25)——
比喩理解 (15:25~16:10) 山梨 正明 (京 大)
談話表示理論解説 (16:10~16:55) 三藤 博 (大阪外語大)

第 2 日 (1 月 22 日)

状況意味論解説 (9:00~10:00) 向井 国昭 (I C O T)
文脈理解 (10:00~10:40) 辻井 潤一 (京 大)
機械辞書の開発 (10:40~11:20) 内田 裕士 (電子化辞書)
音声と言語 (11:20~12:00) 鹿家 清宏 (A T R)
——昼 食 (12:00~13:00)——
機械翻訳の発展に向けて (13:00~13:45) 野村 浩郷 (N T T)
——休 憩 (13:45~14:00)——
パネル討論「自然言語処理における言語理論の役割」 (14:00~17:00)
座 長: 田中 穂積 (東工大)
パネリスト: 郡司 隆男 (阪大), 白井 英俊 (玉川大), 辻井 潤一 (京大)
新田 義彦 (日立)

シンポジウムの論文募集について

下記シンポジウムがそれぞれ論文を募集中です。奮ってご応募ください。なお、詳細については10月号および前号本欄をご参照ください。

「利用者指向の情報システム～情報システムの設計と構築～」

シンポジウム

日 時 昭和63年6月24日(金) 9:30～17:00
25日(土) 9:30～13:00
場 所 機械振興会館研修1号室(地下3階)
発表申込締切 昭和63年1月14日(木)

「計算機システムのヒューマンインタフェース —モデル・評価・展望—」シンポジウム

日 時 昭和63年4月13日(水)～14日(木) 9:30～17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
発表申込締切 昭和62年12月1日(火)

「コンピュータアーキテクチャ」シンポジウム

日 時 昭和63年5月17日(火)～18日(水) 10:00～17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
発表申込締切 昭和63年1月29日(金)

支 部 だ よ り

中 部 支 部

講 演 会

期 日 昭和 62 年 12 月 17 日 (木) 11:40~12:30
 会 場 岐阜大学工学部 (岐阜市柳戸 1-1)
 演 題 ニューロコンピュータと神経情報システム 臼井 支朗 (豊橋技科大)
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません)
 問 合 せ 先 岐阜大学工学部電子工学科 後藤宗弘 Tel. 0582 (30) 1111

講 演 会

期 日 昭和 63 年 1 月 27 日 (水) 14:00~16:00
 会 場 三重大学工学部 (津市上浜町 1515)
 演 題 ソフトウェア開発における人工知能技術の応用 吉田 雄二 (名 大)
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません)
 問 合 せ 先 三重大学工学部電子工学科 大山口通夫 Tel. 0592 (32) 1211

講 演 会

期 日 昭和 63 年 1 月 29 日 (金) 13:30~15:30
 会 場 福井大学工学部共大 1 講義室 (福井市文京 3-9-1)
 演 題 TRON の思想 坂村 健 (東 大)
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません)
 問 合 せ 先 福井大学工学部情報工学科 渡辺勝正 Tel. 0776 (23) 0500 (内 827)

専 門 講 習 会

ディジタル信号処理プロセッサの開発に伴い、アナログ信号のディジタル処理技術は、従来のオペアンプ等を用いたアナログ電子回路技術と同様に、電気・電子技術者の必須の基礎技術になろうとしています。この専門講習会では、第一線の研究者により DSP の基礎から応用まで、最新の技術動向を分かりやすく解説いたします。

期 日 昭和 63 年 2 月 2 日 (火)~3 日 (水)
 会 場 名古屋通信ビル 2 階ホール (名古屋市中区千代田 2-15-18)
 参 加 費 会員 8,000 円 (学生 5,000 円), 一般 11,000 円, テキストのみ 5,000 円
 申 込 方 法 官製はがきに「ディジタル信号処理プロセッサとその応用専門講習会申込み」と標記し, ①住所, 氏名, ②所属学会, 会員種別 (または会員外), ③勤務先, 連絡先 (Tel.), ④送金額, 送金方法を記入して下記あてお申込みください。
 また, 同時に参加費を銀行振込か現金書留にてご送金ください。
 銀行振込先 第一勧銀大須支店 普通 432-1096404
 口座名 電子情報通信学会東海支部 支部長 市川量也
 申 込 先 〒460 名古屋市中区大須 4-9-60 NTT 東海総支社 技術企画部内
 電子情報通信学会東海支部 Tel. 052 (291) 2466

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

2月2日

信号処理の理論とアルゴリズム (9:30~10:30)

有本 卓 (阪 大)

VLSI 時代における DSP (10:40~12:10)

岩田 穆 (NTT 研)

DSP のアーキテクチャと言語 (13:20~14:50)

西谷 隆夫 (N E C)

DSP の現況 (15:00~16:30)

南 重信 (東 芝)

2月3日

制御への応用 (9:00~10:30)

松井 信行 (名 工 大)

音声処理への応用 (10:40~12:10)

本間 光一 (松下通工)

画像処理への応用 (13:20~14:50)

松田 喜一 (富士通研)

計測への応用 (15:00~16:30)

千原 國宏 (阪 大)

~~~~~ 本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内 * ~~~~~

第3回 OA 全国総合大会

昭和62年12月17日(木)~18日(金)

虎ノ門パストラル

シンポジウム「切削加工のエキスパート・システム—熟練技術者に迫れるか」

昭和63年1月25日(月)

東京・光陽社ビルディング

第4回 人工知能総合展示会

昭和63年7月4日(月)~7日(木)

東京流通センター

第38回 自動制御講習会「知識工学のシステム制御への応用—Ⅱ」

昭和63年2月4日(木)~5日(金)

大阪・なにわ会館

2月9日(火)~10日(水)

東京・ダイヤモンド社ホール

光産業技術標準化シンポジウム

昭和63年1月20日(水)~21日(木)

新橋・航空会館

*詳細は本号会議案内欄参照

●最新刊●

フラクタルCGコレクション

渕上季代絵著

A5・1500円

自然界に潜む数理を究明することによりわかってきた『フラクタル』の複雑な美しさをコンピュータグラフィックスにより表現。読者は、フラクタルの数式的には簡単な構造とその美しさには目をみはることであろう。

プログラミングによる計算可能性理論

クフォーリ、モル、アービブ共著／甘利・金谷・川端共訳

A5・2800円

計算機科学のなかめである計算可能性理論を、コンピュータ科学を学ぶ学生を対象にわかり易く解説。計算可能性の定義はPascalの一部であるwhileプログラムを使って記述することにより、簡潔でみやすくまとめた。

ファジイ理論とその応用

水本雅晴著

A5・予3000円

真か偽かをはっきり割り当てることができないあいまいな事柄・現象を量的に説明するために発展してきたファジイ理論について、永年研究を重ねてきた著者が基本的な概念からわかり易く、ていねいに解説した。

人間とコンピュータを考える

隔月刊誌

Computer Today

定価880円

偶数月18日発売

好評発売中

63年1月号特集

フリーソフトウェアとは？

——高品質無料ソフトの入手・活用法——

SIMTEL-20

村上健一郎

フリーソフトウェアの意義

斎藤信男

GNU宣言

R.M.ストールマン・野崎昭弘訳

フリー・ソフトウェアと著作権法

佐野 稔

ビジネス戦略としての“無償”ソフト

唐木幸比古

〈フリーソフトウェア〉

NEMACS, KERMIT, TEX・日本語TEX, GMW

ウィンドウ・システムとWnn かな漢字変換システム 他

11月号特集

パソコン通信 便利帳

パソコン通信の将来像

石田晴久

初めてのパソコン通信

養田正彦

パソコン通信入門1

若鳥陸夫

パソコン通信入門2

加藤隆明

BBSができるまで

上野喜彦・加藤隆明

通信プログラムの作成

木村直樹

VENUS-P

棚木光一他

数理 科学

63年1月号

ヒント

定価930円

20日発売

ヒントとひらめき—荒木不二洋／ヒントなんて……—四方義啓

最速降下曲線をめぐって—世戸憲治／閃きの道すじ—鈴木増雄

連風現象—国沢清典／カギを見つける—林 知己夫他

別冊

流れの数理

——乱流・カオス・フラクタル——

定価2000円

会費・論文誌購読料等の納入に預金口座振替 制度を利用させていただくことについて(お願い)

現在学会では、正会員（一括扱いの会員は除く、以下同じ）及び学生会員の年会費・論文誌購読料等の請求に郵便振替用紙を使用しております。

このたび、会員からの積年の強いご要望に応え、昭和63年度分の納入（期限63年3月末）以降、会費等を会員の取引先銀行等預金口座から振替納入できるようにいたしました。

銀行等預金口座振替納入制度の利用を希望される正会員（学生会員は対象としません）は、下記事項をご了承のうえ巻末添付〔預金口座振替依頼書〕に必要事項をご記入いただき、学会事務局会員係へできるだけ早くお申込みくださるようお願いいたします。なお、ご不明の点があれば会員係にお問合せください。

本制度の導入により会員の皆さまには納入忘れの解消、郵便局・銀行等に出向く手間の省略となり、また学会事務局にとっては納入督促、入金チェック事務等の軽減など事務処理効率化に大いに役立ちますので、是非ご利用くださるよう重ねてお願いいたします。

ちなみに、本制度導入スケジュールは次表のとおりですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

	12月	1月	2月	3月
12月号～3月号で会告				
会員からの 申込受付期間	申込書12月号巻末添付 (31)			
内容点検・不備照会				
銀行口座確認	取引先銀行等 ← 2週間～1ヶ月 (この部分の会員は次回廻し)			
会員マスタ作成	銀行口座確認と並行処理			
振替請求データMT作成				(17)
口座振替開始				(28) ↑ (3月28日)

記

1. **対象会員** 正会員（一括扱い会員は除く）
2. **対象金融機関** 都市銀行，地方銀行，信託銀行，長期信用銀行，相互銀行，信用金庫，労働金庫。（信用組合，郵便局，農協は除きます）
3. **費用負担** 下記費用を会費等金額に加算して振替えさせていただきます。
 - （1）振替手数料 70 円（毎振替時）（郵便振替料金と同額を申し受けます）
 - （2）預金口座振替依頼書の収入印紙代 200 円（初回のみ）
（学会が収入印紙を貼付しますので，会員は貼らないでください）
4. **申込方法** 所定の「預金口座振替依頼書」（本号巻末添付）によりお申込みください。
電話その他による申込みは受け付けいたしかねます。
5. **申込締切** 昭和 63 年 1 月 31 日
6. **第 1 回振替日** 昭和 63 年 3 月 28 日
7. **依頼書の記入要領**
 - （1）会員番号：契約者番号欄に右づめで正しく 7 桁をご記入ください（会員番号は学会誌等送付用封筒の宛名ラベルに記載してあります）。
 - （2）預金者住所：必ず金融機関に届けてある住所をご記入ください（現住所と異なる場合がありますのでご注意ください）。
 - （3）預金者氏名：預金通帳の名義人です。フリガナもご記入ください。
 - （4）金融機関届出印：必ず預金通帳とご照合のうえ，鮮明にご捺印ください。また，左枠外に捺印を必ずご捺印ください。
 - （5）契約者欄：預金者が会員と異なる場合にのみ，会員の住所，氏名（フリガナ）を記入，ご捺印ください。
 - （6）指定口座：金融機関名，支店名，店番号，種目（普通／当座），口座番号等は，必ず預金通帳にてご確認のうえご記入ください。
 - （7）収入印紙：学会で貼付しますので，会員は貼らないでください。
8. **各種通知**：請求書（振替額通知），領収書（振替済通知），督促書（振替不能通知）等は個人宛に発行いたしません。会費等の振替日の案内は，学会誌会告欄（みどりのページ）で行いますのでよろしくお願いいたします。
9. **預金通帳の適用欄**：「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されます。